



ウツバ沢地区希少動植物調査



桔梗



福寿草

次期の申請に向けて申請予定区域の希少動植物調査を行った。調査は、事前に申請予定区域に希少動植物が存在するかを確認して行った。確認した結果、申請予定区域には希少動物はいないが希少植物があるとのことであり、地元の希少野生動植物調査委員会の先生に同行して頂き調査を行った。調査の結果、申請予定区域には140種(未整理のためダブッているものもあると思うので減るかも)の植物が存在し、その中で希少植物に該当する物が「桔梗・福寿草」といったものがあつた。「えっ、福寿草なの?」と思い、事務所に帰って「希少動植物の本」を確認したところやはりリストに載っていた。びっくり。これらの希少植物については、専門家からの指導を頂き、絶やさないうように移植して次期の施工を実施したいと思う。

熱い夜

産廃協会青年部・北海道東北ブロックの総会が盛岡市で行われ、総勢85名の若者が集つた。研修会では岩手県青年部が「エコアクション、今、北から発信」と題して発表し、地球温暖化対策での一番大きな課題はCO2削減であり、運輸部門が全体の21%、その中でも自家用車が半分を占めているということで、簡単に今すぐにでも始められるエコドライブを実践しようとして働きかけた。ハイブリッドカー等の技術開発が進んでいるものの、保有台数の増加でCO2排出量は1990年に比べて約20%も増加しています。懇親会では、浄法寺町の民宿天台荘のどぶろくもふるまわれ、参加者はどぶろくを片手に、環境について将来のあるべき姿を熱く語りあっていました。



我々砕石業者は、これまで主に地学と物理で商売してきた。化学と生物の分野は微塵も考えたことがなかつたし、考える下地もなかつた。ところが最近、製品の外観や寸法、物理的性能の他に長期的な耐久性や安全性を求められることがある。このことに解答するには、どうしても化学が必要となる。非常に悩ましい。

つまり、製品のメニューを並べておくだけではだめなのである。レシピを作り、この材料は「塩コショウで炒める」、こちらの材料は「醤油で煮込む」といった具合により上手な料理法が求められている。

話が観念的になつたが、今骨材は凍害、塩害中性化、すりへり抵抗性、アルカリ反応性等に対してより耐久的事であること、もしくは、より耐久的事であるためのレシピが求められているのである。さらに悩ましい。まずは高校の教科書からか・・・。

夏休みのお知らせ

8月13日(水)~17日(日)誠に勝手ながら夏季休業とさせていただきます。



編集後記

フクタクニュースも今回で50回を迎えました。よくそんなに記事があつたなあ〜と。いや・・・出来事や事件は私達の周りに常に起きているということですね。最近では、未成年者による無差別殺人、通り魔とおかしな時代になってしまいました。親に怒られた腹いせに人を殺してしまう。親が叱らなければいたい誰が叱るのか。今のこの社会に生きる子供達にとって親の発する些細な言葉に傷ついてしまう。これが今の時代なんですかね。打たれ強い子になって欲しいと望む反面、環境が及ぼす影響が一番なのかと感じる今日この頃です。せめてフクタクニュースは明るく、少し為になる一面を皆さんにお届けできればと・・・

社を7月2日に秋田県南砕石協同組合の皆さんが当
 社を見学に来られた。
 見学は総勢12名で、本社で概要の説明をさ
 せていただいた後、砕石事務所で次期の採取計画の
 設計作業、出荷状況、試験室設備等を御覧になつ
 ていただき、採取場、プラントを回り2時間程で
 見学の終了。工事量の減少、環境対策等、か
 意燃料の高騰、秋田県においても同じであり、か
 えては問題が秋田県においても同じであり、か
 意義なる問題が秋田県においても同じであり、か
 社交流が秋田県においても同じであり、か
 社いただきまして本当にありがとうございます



「廃棄物処理から クリーンエネルギー」

～産廃協会二戸支部見学会～

八戸市豊洲にある奥羽クリーンテクノロジーは、今年5月に完成し24時間稼働で1日当たり200トンの処理能力を有していて、一般廃棄物、産業廃棄物、特管産廃を受け入れ、県境不法投棄現場からの廃棄物も受け入れている。注目は、焼却処理の際に発生する廃熱を回収し、施設内利用するほかに「トランスヒートコンテナ」という専用の輸送車で稚魚・稚貝の養殖施設へ運び、海水を温めることに利用している。このシステムは日本初であり、CO2の抑制効果は、施設内利用で年間最大11,400トン、養殖施設では130トンになるそうだ。病院や学校などに利用してもらえるように交渉中とのことで、環境にやさしいこのエネルギー利用法は広がっていくだろう。



「新入幕木村山」

突然ですが、大相撲の話。今場所、新人幕の『木村山』という力士がいる。シコ名に親近感があり、ネットで調べたら本名『木村守』である。どこかで聞いたような名前である。年齢27歳。若手ではない。決してイケ面ではないが、昔懐しい関取顔をしている。相撲は誰かと同じでムラがあり、名古屋場所では負け越してしまったが、なんとか幕内には残れそうだ。興味のある方は春日野部屋ホームページをどうぞ。

